

マスコミ報道による百田尚樹氏の沖縄侮辱発言に対する抗議決議

マスコミ報道によると、6月25日に開催された、文化芸術懇話会において、貴殿が発言した内容は、「普天間基地は田んぼの中にあり、周りには何もなかった。基地の周りに行けば商売になると、みんな何十年もかかって基地の周りに住みだした。基地の地主は大金持ち。基地が出ていくとお金がなくなるから困る。沖縄は本当に被害者なのか。」等の発言は、沖縄の歴史に対する無理解からくるものである。

現在の普天間基地は、戦前10の集落があり、村役場や郵便局が存在する村の中心であったが、先の大戦によって強制的に奪われたものである。宜野湾市のど真ん中に481ヘクタールの基地があるがゆえに基地の周辺に住むしかないという現実がある。

また、軍用地主が大金持ちとの発言についても誤りがある。宜野湾市内の軍用地の借料は平均200万円である。事実と異なる表現であるばかりか、県内外の人々に誤解と不信を与えかねない。加えて先祖伝来の土地を強制的に接収された地主のみなさんの尊厳を傷つける発言であり容認できない。

さらに、「沖縄2紙はつぶさないといけない」という発言は、表現の自由を封じる言論であり看過できない。

よって、宜野湾市議会は貴殿に対して発言の撤回と謝罪を強く要求する。

平成27年6月29日

沖縄県宜野湾市議会

《あて先》 百田尚樹 殿